

「おためし暮らし」体験者インタビュー

★★★ 7月から3週間滞在 ★★★

Q： 安平町で「おためし暮らし」をしてみようと思った理由は何ですか？

A： 今は、中京圏に住んでいるんですが、安平町に隣接している苫小牧市のほうは、地理的・気候的にも知っていたんですよ。それで、将来的には、北海道で暮らしたいと考えていて、苫小牧周辺をと思っていて、インターネットで安平町の「おためし暮らし」事業を知りました。



Q： 「おためし暮らし」滞在中は、どのように過ごされましたか？

A： 「そば打ち」体験をしました。自分たちで打った「そば」をお店で茹でてもらって食べましたが、やはりプロが打つそばとは違いますね。良い思い出となりました。

町内では、「ラ・ラ・タウン・おいわけ」・「若草団地」・「アイリスタウン」などの分譲地を見学したり、中古住宅などの物件を見たりしました。

その他にも、町内ではパークゴルフやウォーキングをはじめ、鹿公園、ときわ公園、瑞穂ダムなど、町内をくまなく散策しました。周辺の農場、牧場の風景など、緑に囲まれた道路は感動でした。安平町に隣接している「ノーザンホースパーク」にも行きましたし、滞在中には床屋にも行ってきました。



Q： 安平町の食については、どうですか？

A： 愛食レストランにも認定されている町内のレストランなど、多くの飲食店に行かせていただきました。トマトを買ったりと、美味しかったですよ。

Q： 「おためし暮らし」を体験してみてどういった感想をお持ちですか？
今後はどうされますか？

A： 今回は、夏の北海道を体験しました。現在の住んでいる場所と比べると、非常に過ごしやすい気候だなと感じています。

ただ、夏だけではなく冬の北海道も体験してみたいと考えています。北海道の住宅は、冬でも過ごしやすい造りになっていると聞いていますが、やはり雪の降る冬の北海道を体験してみたいですね。

安平町は、札幌や苫小牧・新千歳空港など、アクセスの良い場所にありながらも、静かさがあり、ちょうど良い田舎暮らしができる、生活しやすい場所だなと思っています。

そのためにも、移住を含め、苫小牧に近いところなどの土地情報が欲しいですね。